

ソーシャルスキルトレーニングVR



User's
Voice
vol.5



FACE DUO

デイケアにおける就労準備訓練プログラムの取り組み



医療法人 積愛会 横浜舞岡病院

当院のデイケアの取り組み

就労体験をデジタルの介入により
イメージしやすく、練習できるものに

精神科デイケアには様々な利用目的がありますが、就労準備訓練もその一つです。

しかし、統合失調症をはじめとする精神疾患は、思春期など比較的早期に発症することが多く、就労体験が全くない当事者も少なくありません。

このような当事者のために、リアルな就労疑似体験と対人スキルのトレーニングを目的に、一般社団法人SST普及協会監修のもとに作成されたバーチャルリアリティ・社会生活スキルトレーニングを当院のデイケアのプログラム（Job Finding Club）で実施することにしました。



病院長 加瀬 昭彦 先生

当院のJob Finding Club

就労準備に対し、SSTによる構造的な理解を

有志を募り、デイケア通院中の当事者向けのプログラムとしてJob Finding Clubを開始しました。

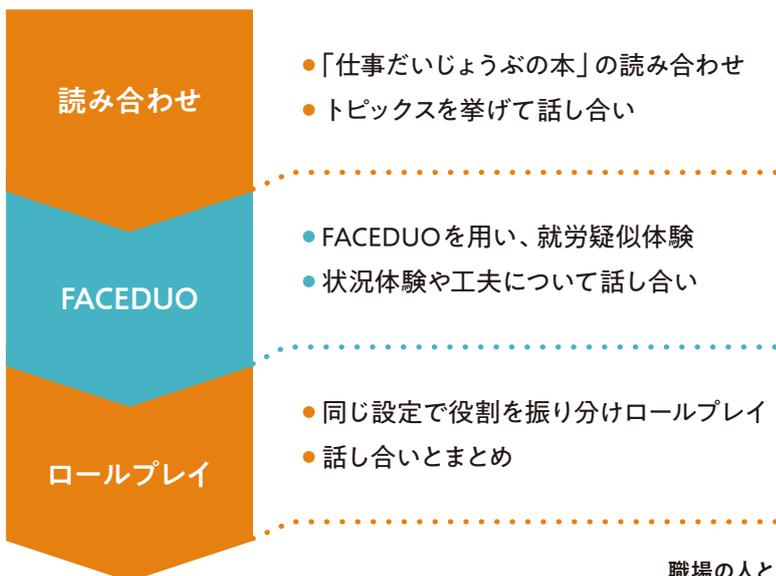
FACEDUOの特性を活かし、「状況体験」「工夫発見」「実践練習」の流れに沿ってプログラムを実施しています。

就労経験のない当事者に対してもイメージの共有やスキルの学習に役立っています。参加者全員で「仕事だいじょうぶの本」(*)の輪読を行い、トピックスを挙げて話し合います。FACEDUOのプログラムを利用し、就労疑似体験をしてもらいます。

さらに、その後、VRゴーグルを外し、同じ設定で役割を振り分け、ロールプレイを行う事で、理解の促進に繋がっています。状況がうまく共有できていることで、ロールプレイ実施時の表情と姿勢に余裕が出てきました。プログラムへの参加の動機付けにも繋がっているようです。



Job Finding Clubの進め方



※参考文献：『仕事だいじょうぶの本』

職場の人と安心してコミュニケーションできるSSTレッスンBOOK
著者：北岡祐子 発売日：2021年5月7日 発行：株式会社ベンコム

今後について

外来～入院の当事者を対象にして

現在のプログラムは外来を中心に行っています。今後は、少しずつ対象を拡げ、入院中の方にも参加してもらう機会を作っていきます。

FACEDUOを活用した外来から入院までのシームレスな治療戦略を実現していき、リハビリに繋がっていきたいと考えています。

FACEDUOの特徴

没入感のある世界での当事者体験により理解度向上へ

FACEDUOは支援者のタブレットで当事者が装着したVRゴーグルのコンテンツを操作し、VR環境下で社会生活の様々な場面の体験が可能なSST支援プログラムです。

VR映像で「リアルな当事者体験」が再現されるため、場面の理解が促進されます。

当事者と支援者が状況をスムーズに共有できることに加え、映像の中で当事者向けの「状況で役立つ工夫」が示されるため、専門の知識や経験が少ない支援者でも安心してSSTを実施することが可能です。

仕事編コンテンツ

リアルな職場での体験を基にスキルを学ぶことが可能

FACEDUOにはソーシャルスキルを学ぶための様々な生活場面を体験できる豊富なコンテンツが用意されています。仕事編コンテンツは、就労準備から移行・定着支援のプログラムとして活用できます。

休憩の時間に雑談する



職場の人と仕事以外のことを話したい方や休憩時間に雑談をしたい方に適したコンテンツです。

休憩時間の会話に困った場面を当事者目線で体験します。

その場面を客観的にふり振り返りながら、「休憩の時間に雑談する」ときに役立つ工夫を考え、ロールプレイによる実践的な練習に取り組みます。

人から提案や依頼をされたとき、相手に遠慮して自分の事情や都合を伝えられないことがあります。

このコンテンツでは、職場で急な頼みごとをされたとき、断れずに困った場面を当事者目線で体験します。

その場面を客観的にふり振り返りながら、「自分の都合を優先する」ときに役立つ工夫を考え、ロールプレイによる実践的な練習に取り組みます。

自分の都合を優先する



仕事の進捗を報告する



仕事の進捗報告が的確にできるようになりたい方に適したコンテンツです。

オフィスに勤務している当事者が終業時に仕事の進捗報告を行う場面を取り上げ、緊張して報告相手を戸惑わせてしまった場面を、当事者目線で体験します。

その場面を客観的にふり振り返りながら「仕事の進捗を報告する」ための工夫を考え、ロールプレイによる実践的な練習に取り組みます。

就労支援での活用①

FACEDUOは多様なプログラムへ対応可能

FACEDUOは、利用する当事者の疾患・状況に併せてプログラムやコンテンツの選択が可能です。就労の前段階として、生活場面での対人スキルや症状管理をトレーニングする、就労準備として面接場面のトレーニングするなど、選択ができます。また、集団でのトレーニングが難しい当事者に、個別プログラムから始め、その後、集団プログラムへ移行することも可能です。

当事者の状況に併せたプログラムが
選択可能



集団・個別の両方のプログラムが
実施可能



対人コミュニケーション



幅広い疾患（精神疾患・発達障害）が対象となる豊富なコンテンツ

就労支援での活用②

FACEDUOは当事者の参加の動機付けに繋がる

FACEDUOのVRテクノロジーを利用したプログラムに対する興味と、現実に即した設定によるリアリティあるコンテンツの魅力は、プログラムを利用する当事者の参加の動機付けに繋がります。ひいては、トレーニングの継続に繋がり、より良いアウトカムが期待できます。



詳しくは公式サイトにて

faceduo

検索

販売 Otsuka

開発・製造

JOLLY GOOD!